

2022年3月25日

出場予定所属団体各位

(2022年度)第76回全日本体操団体選手権出場に関する確認事項

公益財団法人 日本体操協会
専務理事 山本 宜史

標記の件、解釈が不明確になっている事項について、第76回全日本体操団体選手権(以下、「全日本団体」とする)については、下記の通り、適用してまいりますのでお知らせいたします。なお、2023年以降につきましては、さらに課題を明確にし、改革していく予定です。

1. 全日本団体への出場権について

男子 16 チーム

- ①2022 インターハイ【2 チーム】
- ②2022 全日本ジュニア選手権(1部)【1 チーム】
- ③ジュニアナショナル選手を対象とする選抜チーム※【1 チーム】
- ④「2022 全日本学生選手権(1部・2部)」「2022 全日本シニア選手権(1部)」におけるチーム得点順【12 チーム】※大会結果とは別に6-6-4で通過順位を決定

女子 16 チーム

- ①ナショナル・ジュニアナショナル選手を対象とする選抜チーム※【1 チーム】
- ②「2022 全日本ジュニア選手権(1部)」「2022 全日本学生選手権(1部・2部)」「2022 全日本シニア選手権(1部)」におけるチーム得点順【15 チーム】※大会結果とは別に6-6-4で通過順位を決定

※男女とも選抜チームの扱いは全日本団体においてオープン参加となる。

※選手は全日本団体の出場権を得るための大会に複数出場可能な大会もあるが、その場合、所属した複数チームで全日本団体出場権利を得た場合、いずれか1つのチームにのみ全日本団体の出場権を与えるものとする。

※アジア競技大会日本代表選手の特例を設定する(2022NHK杯時1日の得点割当)。

2. 全日本団体への出場選手について

本会に登録した「所属団体」が同一であれば、当該所属団体が全日本団体への出場権を得た場合、それぞれ年齢区分の異なる大会に出場していたとしても同一チームの一員として全日本団体に出場できるものとする。

(年齢区分のない民間クラブとして所属団体登録したチームに選手登録すれば、ジュニア、インカレ、シニアの年齢区分の異なる大会に出場したとしても、全日本団体においては出場

資格を得た同一チームで出場することができる。)

3. 全日本団体出場権を獲得したチーム名を全日本団体において変更する件

出場資格を獲得したチーム名を原則とする。ただし、チーム名変更により補助金が得られるなど、特段の理由がある場合、男女各強化本部に申請し、承認を受ければ変更できるものとする。

4. その他

上記取り決め以外の内容に関しては、強化本部に問合せ、確認することができる。

以上